

しらさぎ・無所属クラブ

第51回衆議院議員総選挙
平塚市の低投票率を問う

はた文昭 議員

問 本市の投票率は49・73%と、県下19市の中で18番目であり、衆議院議員総選挙の本市の投票率としては、戦後2番目に低かった。投票率を上げるために実施した啓発活動を伺う。

選挙管理委員会事務局 市ホームページやタウン誌への掲載などさまざまな媒体を活用し、投票日及び投票

率参加への周知を行った。本市はいつも投票率が低い。民主主義の土台となる選挙に対し、本当に深刻な危機感を持っているのか伺う。

選挙管理委員会事務局 今回は投票率が50%を下回っている。改善するために地道に取り組んでいきたい。

子どもを育む
環境づくり

問 我が会派も要望してきた産後ケア事業の利用期間が産後1年未満に延長され、利用回数の上限も7回に増やすことは評価するが、1泊2日のショートステイの利用料金が近隣市に比べて高いのはいかがか。

健康・子ども部長 本市の産後ケア事業はショートステイ、デイサービス、アウトリーチの3つのメニュー

があり、総合的に充実させる中で負担を考えた。放課後等デイサービスは利用条件の緩和により、ひと月当たり最大23日に拡大し、医療的ケア児の通学支援は、利用回数を月5回にする。

問 小中学校の体育館と、小学校の特別教室及び教育相談室のエアコンの供用開始時期を伺う。

健康・子ども部長 中学校

体育館は令和9年4月、小学校体育館は10年4月、特別教室及び教育相談室は9年10月を予定している。

問 ひばり幼稚園と南原保育園を統合して民間の認定こども園を目指す。障がいのある子どもの受け入れと支援体制を問う。

健康・子ども部長 8年度は、幼稚園に対する補助金の拡充や新しく児童発達支援センターによる訪問療育相談への取り組みを行い、市全体で受け入れていく。

問 子ども食堂などの運営状況と支援内容を伺う。

健康・子ども部長 現在、子ども食堂が26、学習支援

を聞きながら検討している。ホール機能を有する施設の具体案を伺う。

社会教育部長 代替施設としてラスカ平塚の利用について調整を進めている。

問 ホール機能のあり方庁内検討委員会への市民参加について見解を伺う。

社会教育部長 まずは庁内で検討し、その後は市民アンケートなどで広く意見を募り進めていく。

日本共産党平塚市議会議員団

市民のくらしと平和を守る
令和8年度予算にむけて

高山 和義 議員

令和8年度施政方針
4つの重点戦略から

問 平塚市青少年奨学金返還支援事業の拡大を検討しているか伺う。

健康・子ども部長 こども政策フレームで奨学金制度を強化しているため、拡大の予定はない。

問 正規雇用につながる資格として、普通自動車免許取得への補助は検討しているか伺う。

健康・子ども部長 先進市で行っていただければ検討していきたい。

問 不登校や病欠欠席など非喫食者への給食費の補助を検討すべきと考えるが、いかがか。

教育総務部長 給食費負担軽減交付金は、自治体に対する支援として実施するものであり、個人に対する給付を自治体が代理で受領するものではない。

問 高齢者が賃貸住宅への入居を断られる事例に対し、市の支援策を伺う。

企画政策部長 関係課と意見交換会を行っており、今後も情報共有していく。

問 JRR平塚駅に予定しているホームドアの設置スケジュールを伺う。

企画政策部長 令和9年度の供用開始に向け、準備を進めていると聞いている。

問 校務作業員作業室や給食受入室のエアコン設置の計画を伺う。

企画政策部長 設置手法などを含め、検討していく。

高市首相の非核三原則見直し発言と核兵器廃絶平和都市宣言

問 非核三原則が見直された場合、本市の平和都市宣言との整合性を伺う。

健康・子ども部長 本市の平和推進事業は、二度と悲惨な戦争を繰り返してはならないとの思いを、次の世代に引き

継ぐために取り組んでいるものであり、国の動向に関わらず推進していく。

問 首相の非核三原則見直し発言に対し、意見書を提出する考えがあるか伺う。

健康・子ども部長 現時点では意見書を提出する考えはない。

問 中央公民館休館とホール確保について

中央公民館の休館について、社会教育委員会議論したのか伺う。

社会教育部長 議論はしていない。

問 教育委員会が議題に上がったのはいつか伺う。

社会教育部長 教育委員会では検討結果の報告をしている。

問 休館について議論されていないのはおかしいと思うが、いかがか。

社会教育部長 今後は意見を聞きながら検討していきたい。

会議録検索のご利用を

市議会ホームページの会議録検索では、日程や発言者などから簡単に検索することができます。



日本共産党平塚市議会議員団

所属議員



松本 敏子 議員

しらさぎ・無所属クラブ

所属議員



渡部 りょう 議員



元島 しん 議員

常任委員会の審査概要

予算以外の議案は所管の常任委員会に付託して審査しました。総務経済では質疑がなく、教育民生では付託がありませんでした。

都市建設

議案4案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第12号 平塚市営住宅条例の一部を改正する条例

問 市営住宅の駐車場は、ひらつかシーテラスの駐車場としてもニーズがあるが、外部への貸し出しについて考えを伺う。

答 ほかの自治体への聞き取りも含め、事例の研究を行っている。引き続き検討を進めていきたいと考えている。

○議案第16号 平塚市火災予防条例の一部を改正する条例

問 改正に至った理由を伺う。

答 近年のサウナブームを背景に、簡易的なサウナを設置する事例が増加している。簡易サウナは、一般的にテントや木製のバレル型の専用の外装とサウナストーブを組み合わせて、屋外に設置するが、サウナストーブと可燃物との離隔距離に関する現行基準では支障が生じることから、規制緩和を目的とした簡易サウナ設備について新たに基準を整備した。

環境厚生

議案1案件は原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第25号 平塚市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

問 子ども・子育て支援納付金と、国民健康保険税の引き上げによる二重の引き上げとなっている。国民健康保険税の引き上げを最小限にするために、市はどのような配慮をしたのか伺う。

答 国民健康保険制度の枠内で制度を健全に運営し、被保険者の負

担がなるべく少なくなるよう配慮した。具体的には、1500万円の基金の取り崩しを行い、その他一般会計繰入金を約1億200万円計上した。また、所得が多い人に多く負担してもらうため、応能割の割合を前年度より増し、低所得者に配慮した制度設計とした。

問 18歳未満には均等割りを加算しないが、影響を伺う。

答 18歳未満の均等割りを減免する代わりに、18歳以上の国民健康保険被保険者が1人56円負担することになる。